

コミュニティ静岡



あなたのまちの
コミュニティ活動情報誌

2015

7月

No.139



中央公園ラジオ体操友の会（沼津市）



お手製ベストを仲間に披露中



火曜日の歌謡も好評です

▼毎朝7時20分、沼津市の駅南にある中央公園からラジオ体操の曲が聞こえてくる。家に閉じこもることが多くなる中高年を対象に、「健康と仲間づくりのきっかけの場を作ろう」と発足し、55歳～93歳の会員がラジオ体操を楽しんでいる。

▼会の特徴は、会費を生涯会費とし、1カ月続けられた人から1回だけ900円徴収している。また、役職は無い、退会制度も無い、名簿はあるが住所は知らない、ナイナイ尽くしの気楽な会である。

▼「会の存続には、魅力がないとダメ。工夫してマンネリ

にならぬよう、前進していく」と世話人が話すように、隠れ脳梗塞を発見する目隠し足踏みテストをしたり、市民ふれあいバス制度を利用し、親睦を兼ね市施設や市文化財などへ大人の社会見学を実施した。また、最近火曜日は歌謡日と定め、体操の前に歌を歌い始めた。

当会は、沼津市のまちピカ応援隊に所属し、体操の前に公園内の清掃も行い、地域の環境美化に努めている。

◇世話人：鈴木由光さん（問合せ・☎055-962-3314）

【情報提供・渡辺文代】

Contents No.139

各地の活動	●沼津市……………	1
クローズアップ	●「地域に尽くす人に尽くす自分に尽くす」三つの心で喜びの連鎖反応(菊川市) ……	2～3
地域をつなぐ人	●町の記憶を物語に編む ……	3
各地の活動	●東伊豆町・島田市・吉田町・御前崎市・磐田市 ……	4～5
地域訪問記	●元気で頑張っている「おかみさん」がいっぱい!(御殿場市) ……	6
コミねっとから	●キラリ!コミねっと など ……	7
コミ推協から	●平成27年度コミ推協事業予定 ……	7
	●コミュニティ活動集団指定団体の報告など ……	8



コミック
のりづき・りえ

クローズアップ

「地域に尽くす、人に尽くす、自分に尽くす」 三つの心で喜びの連鎖反応

スリーハートクラブ（菊川市）

スリーハートクラブの設立は平成16年。自治会長OBらが中心となり地域活動を開始した。設立当初、菊川市西方地区内の大量に投棄されたゴミ問題の解決に腰を上げることになった。ゴミ問題の対応なくしてスリーハートクラブを語ることはできない。長年にわたる活動の真髄を伺ってみた。



年6回の不法投棄ごみ回収。10年前に比べ半分の量になった

未だに続く不法投棄…

自然豊かな西方地区の山間の道路わきや木の茂った人目に付きにくい場所に、家電や自動車のタイヤなどが捨てられていた。当時、年700kgあった回収ゴミは地道な活動により現在は半減。最近は粗大ゴミよりコンビニ袋に入った飲食物のポイ捨てが主になってきた。

昨年は「不法投棄ゴミ防止啓発標語」の募集を行ったところ40点もの応募があり『投棄ゼロ みどりいきいき 菊川市』を決定した。ゴミのポイ捨てが多い場所に看板を設け、標語が視みをきかせている。看板の裏には堀之内小4年生が制作した不法投棄禁止のポスターが貼られ、地域をあげてゴミ問題に取り組



視みをきかせる手づくり看板

んでいる様子が伝わってくる。看板は、不法投棄に対する西方地区の意識の高さを視覚に訴えることとなり、西方地区では捨てることできない

と抑止力となっている。今年度は特に草刈りを重点的にに行い、人目に付きにくい箇所を無くしていく予定だ。

また、長年の環境活動が地域住民に伝わったのか、散歩ついでにゴミを拾う人を見つけ「意識が高まっていることを実感し嬉しかった」と代表は言う。こうした大人の姿を見て育った西方地区の子どもたちは、何ものにも代えがたい生きた教育を受けている。

「地域に尽す、人に尽す、自分に尽す」 三位一体の取組みが人を育てる

ゴミ問題以外にもスリーハートクラブの活動は多岐にわたる。三位一体の取組みのうち「地域に尽す」は先のゴミの不法投棄の取組み。「人に尽す」は堀之内小学校5年生との稲



先輩から田植え指導を受ける小学生

作体験。「コメ吉田んぼ」という愛嬌のある名前の実習田んぼで、田起こしから稲刈りまでをメンバーがサポートし、秋に収穫した米で餅をつき、赤飯を炊く。赤飯は児童による手書きの手紙と手作りのお守りをセットし、自分たちが受けた恩と達成の喜びを込め、西方地域サポーターと一緒に地域の高齢者宅に配り喜ばれている。この取組みがきっかけで児童が地域の高齢者を意識するようになったと聞く。子どもたちは自分自身が地域に役立っているという実感を持つことができ、地域住民の一人であるという自覚が目覚めているようだ。



赤飯になり、約130軒の高齢者宅に届けられる

このような長いスパンの活動のモチベーションを支えているのが「自分に尽す」取組み。

男所帯のスリーハートクラブは年間通してさまざまな講習会を開催し、中でも男の料理教室はメンバー自身の認知症予防を兼ねた情報交換と親睦交流の場となっている。



餅つきの後、皆でいただきま〜す

喜びの連鎖反応

3つの取組みを貫くのは『喜びの連鎖反応』。「喜び」を分かち合うことこそが活動を長続きさせ、地域と自分をつなぐ大切なキーワードとなっていると感じた。

今後は代表の負担を減らし、業務を効率化するため、専門部の充実を目指しているとのこと。

スリーハートクラブは「地域に尽す、人に尽す、自分に尽す」をモットーに活動の輪を広げ、地域活動のバトンを未来につなげていくことだろう。

◇代表：山内康司さん（問合せ・☎ 0537-36-2972）
【情報通信員・渡邊政幸】

レポート・中村弘美 編集委員

■地域をつなぐ人

『町の記憶を物語に編む』

中野町を考える会 堀内秀哲 氏



なかのまち

中野町は浜松市の東端、国道1号天竜川橋のたもとに位置し、東海道中膝栗毛に「江戸と京都の真ん中ゆえに『なかのまち』と云う」と登場する古い町である。私たちの会は10年前に地域活性化を目指して発足した。かつて天竜木材の中継地として栄えた街道筋の町は、製材業の斜陽化と東海道のバイパス整備に伴い、人影まばらですっかり時代から取り残された町になっていた。

お宝さがし

「昔は賑やかで良かったなあ」と年配者のため息を幾度聞かされたことか。旅館や芝居小屋、カフェ、玉突き場もあったという当時の賑わいを、今は想像すらできない。せめて写真で懐古してみようと『昔なつかしの写真展』を企画した。町民から集めた150点もの写真は、まちの歴史や文化を私たちに再認識させる契機となった。道の端に残る古レンガの一本線は、今は無き中野町銀行の忘れ形見だと、セピア色の写真が教えてくれる。そう、まちには歴史の破片が今も散りばめられているのだ。色褪せたお宝は、みんなのアイディアで案内看板やマップへと再生資源化された。お宝探しはとても楽しい体験であった。

なつかしい感覚

手作りの案内マップを携えて、小学生とまち探検する地域学習授業を毎年続けている。10歳にも満たない3年生が、「何か懐かしい感じがするね」と感想を言った。もちろん昔を知るわけではなく、どこか心とむほんとする空気感、それが「なつかしい」の意味することなのだろうと理解した。遺伝子に埋込まれた記憶が、ふと呼び覚まされる瞬間なのかも知れない。先人が残した地域のDNAを、次世代へ受け継いでいくことが私たちの使命だと想わせる、大事な言葉だった。

たねまき

明治に建てられた石蔵の再生事業が、目下最大の関心事だ。伊豆石は木材を江戸へ運んだ舟が帰りに下田あたりで積み込み、この地域に運ばれ建築材として使われた。つまり蔵は地域の歴史を伝える生き証人である。味わい深い石の表情や木の温かい空間はとても魅力的で、ここで行なう音楽ライブや芝居は、実にいい雰囲気である。この場で繰り広げられる出来事が、「なつかしい」の種になって、いつか皆の心に小さな花を咲かせることを夢見ている。これからも、地域のささやかな物語を編み続けたい。

まちから・むらから

●東伊豆町

42年間の活動、ホタルの里づくり

大川ほたる同好会



ほたる提灯片手に初夏の風情を味わう

る同好会である。

▼竹ヶ沢の池でホタルが舞う姿を見て幼い日を思い出し、子どもたちにホタルを見せたいと4人の仲間が集まったのが昭和48年。それからホタルの生態を学ぶため、多摩動物園やホタルの名所を訪ね知識を習得す

▼東伊豆町大川温泉竹ヶ沢公園では、毎年6月の上旬から中旬にかけて町を挙げて、「ほたる鑑賞の夕べ」を開催している。この事業を支えているのが大川ほた

ることから始めた。

カワニナの収集、成虫を捕獲し特製の虫かごに入れ採卵。孵化した幼虫を養殖小屋の水槽で育て、毎年3月の初旬に町立大川小学校の生徒を招き、竹ヶ沢公園内に設けた生育用水路に放流している。

▼42年前に4人で始めた「ほたるの里づくり」が大川観光協会を動かし、荒れ果てていた池も「竹ヶ沢公園」として整備され、平成14年からは東伊豆町観光協会の主催する「ほたる鑑賞の夕べ」イベントになった。ホタルの乱舞を夢見て虫の養殖に取り組み、大川を「ほたるの里」にして地域の活性化を図る目的は叶えられ、今年も多く地元民や観光客でにぎわった。

◇代表：稲葉 正さん（問合せ・☎0557-23-1784）

【情報提供・鈴木邦夫】

●島田市

五和小グラウンド陣取り綱引き合戦!

▼島田市金谷地区の五和（ごか）小学校の校庭は、牛尾区と竹下区の区境にまたがっている。このことに目を付けた地域活性化に取組むコミュニティ竹下が、水窪の県境を争う峠の国盗り綱引き合戦を参考に「地域を盛り上げ、コミュニティ組織の存在感を高めよう」とエンジョイうしおに企画を持ち掛けたところ、「同じく地域活性化に取組む団体として断るわけにはいかない」と挑戦状を受け取り、区境を争う綱引き合戦を4月12日に開催した。

▼まず、水窪へ視察に行き、盛り上げるためにはどのような企画にしたらよいのか協議を重ね、協力しながら着々と準備を進めていった。綱引きは、ぶっつけ本番。水窪からの来賓者に綱引きのご指導を受けながら進めた。メインの選抜3本勝負は2-1で竹下に軍配が上がっ

コミュニティ竹下とエンジョイうしお

た。

▼雨天により体育館での開催になったが、両区民のみならず聞きつけた多くの市民が参加し地域を盛り上げた。隔年での開催が決まったが、勝負にこだわるよりも遊び心を忘れず、住民交流をメインに今後も企画していく。

◇代表：八木慎一郎さん（問合せ・☎0547-45-2934）

【情報提供・杉村美子】



大歓声に包まれた体育館

●吉田町

会話も弾む4地区交流ファミリーウォーク

4地区合同地域教育推進協議会



小さな子たちも頑張りました

学校を通して呼び掛けをし、4地区住民の交流のイベント「第5回吉田町ファミリーウォーク」が開催された。

▼9時半、中央公民館から富士山静岡空港への片道2時間のコース（往復約18*）を元気よく出発。休憩地点では

▼去る4月19日に、「地域の子どもは、地域で育む」ことを目的に集まった吉田町の住吉、川尻、片岡、北区の4地区のボランティアグループが、町内の保育園・幼稚園・小

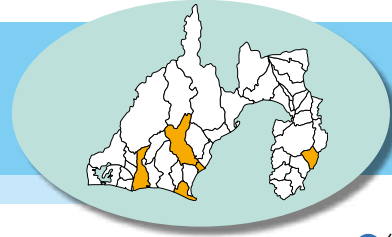
スタッフが用意したお茶をいただき、残りのコースを歩き出す。本日一番の難所! 空港に隣接する古刹、石雲院の坂道・階段を上り11時半に静岡空港展望台へ到着。全員でスタッフの用意した熱々のトン汁をいただきながら昼食を取っていると小雨がパラついたが、空港側の配慮で普段立ち入ることのできない展望台下を雨宿りに開放してもらい、小さな親切を味わった。

▼「疲れた」「足が痛い」の声が聞こえてきたが1人のリタイアもでることなく、15時に全員が中央公民館に到着。普段は接点の無い町民同士、歩きながらの会話も弾んで大人も子どもも来年の参加を約束して解散した。

◇代表：和田住男さん（問合せ・☎0548-32-3392）

【情報提供・大石房江】

各地の活動情報



● 御前崎市



花育ては心育て、愛情を込めて…

「花のコミュニティ」で地域を彩る

西側秋桜会

▼御前崎地区にある西側区町内会の通称バス通り沿いに、50個余りのプランターをひな壇形式で並べ、美しい花々が一年中咲いている一画がある。「何か自分たちにできることで地域を明るくしたい」と花好きな女性10人が集まり平成8年から地域に彩りを添えている。

▼一年中花を絶やさないための育苗は大変だが、年齢を重ねながらも和気あいあいと頑張っている。一番の

苦労は、台風の時期。過去には強風のために一晩でダメになってしまったこともある。台風の度に、重たいプランターを移動させるのだが、そんな時は男性陣が手伝いに来てくれ非常に感謝している。最初は、自費の活動だったが区から助成金をいただくようになり、今では他団体との交流や、町内会の人にも声を掛けて親睦旅行に行くなど横のつながりが増え、活動の広がりや地域の支援を実感している。

▼発足して19年経ち、身体が大変な時もあるが「きれいだね」と声を掛けられ喜び、花たちに力をもらい、「花育ては心育て」を感じながら西側秋桜会は今日も奮闘中である。

◇代表：増田眞佐子さん（問合せ・☎0548-63-2069）
【情報提供・川口まさ江】

● 磐田市

夢とロマン!郷土の歴史を紐解いて

向笠史談会

▼向笠史談会は、向笠地区を中心に郷土史資料・古文書・伝承などの収集と学習活動を通して地域の歴史を住民に伝え広め、地域に誇りを持ち、地域の絆を発展させようと昭和58年に発足した。

毎月1回、会員が古文書や古地図を持ち寄り、話し合いながら読み解いていく。思いがけなく遠い他県にまで史実がつながっていき、ロマンが広がっていく醍醐味がある。研究結果は形に残すようにしており、これまで「ふるさと向笠」「向笠城物語」などを発行。全て国立国会図書館に納め外部への情報発信をしている。また、年4回の会報は幼稚園、小学校、中学校への配布と各戸回覧し、住民に報告している。

▼また、研究だけでなく、史跡の説明板を30か所に設置し向笠交流センター主催ウォーキング大会で

史跡の説明をしたり、向笠小学校6年生の社会科の学習で戦争体験の語り部として出向いている。

今後、掘り起こした先人の功績や地域の史実を住民と巡るバス旅行を企画し、会の活動が地域交流の潤滑油になれば…と代表は言う。

◇代表：内藤俊彦さん

【情報提供・羽田栄子】



地域の歴史を伝え広める、説明板設置

地域活動情報

この詳細はホームページでご覧になれます（アドレス <http://www.sizcom.jp>）

No	市町	活動名	主催者	No	市町	活動名	主催者
1	西伊豆町	お祭り大好き“イモニーズ”	イモニーズ（バンドグループ）	10	静岡市	一人で歌うよりも、みんなで歌うほうが…	フォーク・グループ「クリーブ」
2	伊豆の国市	誰もが、心開いて、優しい1日を過ごせる地	オーキッド・スギヤマ	11	島田市	日本左衛門堤防草刈り作業	初倉郷土研究会
3	沼津市	勇躍りの保存と継承	久連 勇躍り保存会	12	吉田町	平成27年度通学合宿「住吉わっぱ宿」	住吉わっぱくらぶ
4	三島市	守り伝えよう！三島のしゃぎり	栄町しゃぎり部	13	川根本町	三ツ星オートキャンプ場感謝祭「三ツ星祭り・春」	NPO法人かわね来風
5	裾野市	コミュニティキッチン「わいち」裾野市和市区集会所でオープン	コミュニティキッチン「わいち」	14	川根本町	川根GREEN PARTY	NPO法人地球と未来の環境基金 NPO法人かわね来風
6	小山町	富士浅間神社例大祭 春祭り	富士浅間神社祭典委員会	15	掛川市	戦国汁を「おもてなし」心で	高天神戦国汁の会
7	富士市	駅南福祉フェスティバル	富士駅南福祉推進会	16	森町	軽トラ新鮮野菜をお届けします会	Kトラで元気を出そう会
8	富士宮市	歌でコミュニケーション	富士宮少年少女合唱団 ななかまど女声合唱団	17	浜松市	読み聞かせ活動約30年！意欲的に取り組む	どんぐり
9	静岡市	用宗港（もちむねみなと）なぎさ市	用宗港（みなと）なぎさ市実行委員会	18	浜松市	お隣子フェスタin東小	おはやし連

地域訪問記

元気で頑張っている「おかみさん」がいっぱい！

御殿場おかみさん会（御殿場市）

御殿場市は、世界遺産の富士山を間近に見上げ、緑と青の空間がマッチした自然環境に恵まれたまちである。市内には全国的にも有名な御殿場プレミアムアウトレットが立地しているが、時代の流れとともに御殿場駅周辺は空洞化が進んでいる。この駅前でにぎわいと活気を創出し、地元住民が楽しむだけでなく、御殿場を訪れる人々に観光PRとおもてなしの心を届け、交流を図ることができる場づくりに励んでいる「御殿場おかみさん会」を紹介する。

女性パワー炸裂



地域に福を配る七福神

御殿場駅周辺に立地する、新橋（にいはいし）・湯沢商店街の女将さんの有志が、「御殿場おかみさん会」を平成10年に立ち上げた。現在は、40代～70代と幅広い年齢のチームワークが良い24人の女将さんたちが計画即実行で活動している。今までの活動を振り返ると、夏祭りには七福神に扮装し、のしかの一万円札を福に見立て配布、オリジナルテーマソング「おかみサンバ」を創作しパレードに参加、東北支援活動や空き店舗の活用方法を学びに視察、まちの活性化をテーマに講演会を開催するなど精力的に活動している。

おかみさん市

1年で最も駅前に人が溢れる自衛隊の富士火力演習。にもかかわらず、駅前に何もなかった。そこで平成23年に市の補助金制度を利用して、駅前広場で「おかみさん市」を開催し、フリーマーケット、ステージパフォーマンスや、餅まき、抽選会など観光客をもてなし好評を



おかみさんが教える兜づくり



多彩な出店と催し。ぜひ、お立ち寄りください

得た。

その活気を再びと、毎月第1日曜日9時～13時まで駅前で開催される「おかみさん市」。「多彩な出店があった方がよい」と地域を絞らず市外からも出店可能。楽しんで帰ってもらおうと、人づてを頼りに毎回趣向を凝らしたイベントを開催して、大変な盛り上がりを見せている。「お客さん同士が、久しぶり～と顔を合わせる場になって欲しい」という。

やって良かった

取材にご協力いただいた横山会長、徳嵩さん、辻川さんからは「あちこち顔を出してアンテナを張っていると引っ掛かり、人とのつながりが出来てきた」と異口同音にいう。何よりも、「友人や市職員の方、業者さん、自治会など沢山の人が準備や片付けに笑顔で私たちを応援してくれることに感謝をしている」とコミュニティで一番大切なことを実践されていることに共感を覚える。

これからの目標

「おかみさん会」の熱心な企画運営力に市役所や観光協会も協力し行政と市民の協働型のコミュニティづくりが進んでいる。歩行者天国の実現や周辺商店街との連携など今後の課題は多々あるが、元気に楽しく“おかみさん”パワーを発揮し取り組んでいこう。

◇代表：横山貴子さん（問合せ・☎0550-82-1144）

【情報提供・杏間 捷】

レポート・鈴木孝治 編集委員

キラリ!
コミねっと

コミカレ・ねっとわーく会員の活動紹介します!

夢倶楽部あしたか (沼津市)

Q どんな活動をされていますか?

A コミカレ修了者が中心となって活動している会で、愛鷹コミュニティの縁の下の力持ちとして日々活動しています。現在の主な活動は、演奏活動、東北復興ボランティア、コミュニティ祭りのイモ羊羹おもてなしとサツマイモ販売です。

Q 夢倶楽部あしたかといえばハンドベルを使用した演奏をイメージしますが、きっかけは?

A H19年、レコード鑑賞会を企画した際、聞くだけでは間が持たないので、ギターとマンドリン奏者が3人いるから、歌声喫茶風にやってみるのがきっかけです。初舞台には40人集まるも、2回目は3人でした。(笑)メンバーは20人いますが、奏者以外は裏方をしてもらっていました。そのうち裏方から主体的な意見が出てこないことに気づき、皆で一緒にできる楽器はないかと相談して、ハンドベルに決まりました。



毎年12月にはクリスマス演奏会を開催

Q 活動をする中で、うれしいことや印象に残ったことはありますか?

A 最初はぎこちなかったですが、人前での披露を重ねてお褒めの言葉をいただくようになると嬉しくて「下手なものは聞かせられない、練習しなくては」という気持ちが強く出てきます。それが、他の活動にも影響を与えるのか、前向きな意見が出るようになりました。それ以前は他の活動も含め、お手伝い意識が強かったように感じます。

Q 活発な活動を続けて27年、マンネリ化に悩む団体にアドバイスをお願いします。

A 新しいことをやらないからマンネリ化するんですよね? 普段の何気ない会話を大事にすることだと思います。ポロッとでた言葉も拾い上げます。どうしたら良いのかは、皆で考えればいいですから…。だから練習のティータイム(お喋りタイム?)は外せません。(笑)



奏者も観客も楽しめると大評判!

平成27年度コミ推協事業予定
(7月以降)

- ・ 7/3 コミュニティ活動集団育成事業指定説明会
- ・ 7/25~9/26 コミュニティカレッジ開催
- ・ 9月~10月 コミュニティ活動賞の募集
- ・ 11/14・21 出張コミカレin駿豆
- ・ 11/18 コミカレ修了者アフター研修会
- ・ 1/23・30 出張コミカレin西遠
- ・ 2/13 コミュニティ・フォーラム2016(袋井)

コミカレ・ねっとわーく総会を開催

コミ推協のリーダー養成事業「コミュニティカレッジ」修了者で組織する「コミカレ・ねっとわーく」(会員473人)は、6月6日、沼津市原地区センターで、県内各地から会員208人が出席して、平成27年度の総会を開催した。

全体総会では、3期6年会長を務められた沖二三男氏が退任し、東部支部長である沓間捷氏が新会長に選任された。

その他、東・中・西部の各支部ごとの総会も

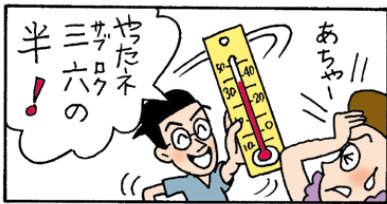
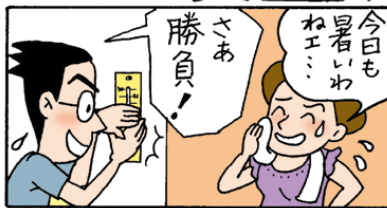


笑いに包まれた総会でした

行い、各種事業や研修計画などの審議を行うとともに互いの連携を誓いあった。

コミさん家

のりきりえ



編集・発行

静岡県コミュニティづくり推進協議会
〒420-0856 静岡市葵区駿府町1-70
総合社会福祉会館3階
TEL 054-251-3585
FAX 054-250-8681
URL <http://www.sizcom.jp>
E-mail sizucom0829@po.across.or.jp
地域情報お寄せ下さい。

コミュニティ活動集団18集団を指定

平成27年度の「コミュニティ活動集団」は、次の18集団を指定しました。地域で新しいコミュニティの風を巻き起こすような活動を期待しています。

- 幼老活き生きねっと支援隊（三島市） 高齢者引きこもりゼロ・ストップザ認知症
- 和市ふれあいクラブ（裾野市） 世代をこえた地区の人達のふれあい
- 松下町ボランティアの会（MVK）（沼津市） 「安心・安全・住んでよかった松下町」
- 小諏訪喜楽会（沼津市） 人のつながり、心身共に健康、明るくぬくもりのある地域
- 本市場スポーツ同好会（富士市） スポーツを通じ親睦と健康維持、住民の触れ合いを深める
- 富士市富士南地区福祉推進会（富士市） ご近所福祉
- 岩本山の環境と水を守る会（富士市） 岩本山の自然と水を守り豊かで安心できる環境
- 富士宮市地域女性連絡会（富士宮市） 手をつなごう、いい人生 いい文化を創るために
- 清水郷土史研究会（静岡市） 郷土の歴史発掘・記録・発信で郷土への愛を育む
- 用宗活性化協議会（静岡市） 用宗地域の活性化
- 西千代田町子ども会（静岡市） 地域住民が顔なじみ！
- シニア演劇探検塾劇団あしたば（静岡市） 生涯青春、生涯現役、みんなが主役
- 焼津市焼津第4自治会（焼津市） 地域住民の防災意識向上
- ひらかわ劇団（菊川市） 地域の子供やお年寄りが大声で笑えるような場を作ろう
- NPO結び逢い（掛川市） 人と人・人と地域・人と社会・子どもと高齢者繋げます
- NPO法人子育て支援の会（浜松市） 地域の次世代のリーダーを育てよう
- ボンボンCLUB浜松（浜松市） 地域住民のお茶飲み交流「いこいの場」
- みやまの鐘プロジェクト（浜松市） 自然と伝統のある奥山の魅力をもっと伝えて、もっと元気に

編集委員を紹介します

本年度の本紙編集委員の皆様を紹介します。（敬称略）

- ・ 川口良子（デザイン・アープ代表・本会推進専門委員）
- ・ 大畑秀久（県広報協会常任理事兼事務局長）
- ・ 鈴木孝治（コミカレ修了者・焼津市）
- ・ 中村弘美（コミカレ修了者・掛川市）
- ・ 杉村龍司（県自治行政課主査）
- ・ 石川晴子（県自治行政課主任）

